



韓国に親しむ

韓国を知る本

今年から2012年は、韓国観光公社が観光年・Visit Korea Year2010-12を展開しています。また、今年には日本による韓国併合から100年、朝鮮戦争開戦から60年という節目の年でもあります。ドラマを通して関心を持たれている韓国の本を集めました。資料の一部をご紹介します。

Visit Korea Year 2010-2012

・Visit Korea Year (日本語)

⇒<http://www.japanese.visitkoreayear.com/japan/main.asp>

-観光年関連イベントや旅行情報が分かるサイトです。

・韓国観光公社 (日本語)

⇒<http://www.japanese.visitkorea.or.kr/jpn/index.kto>

-国の基本情報、食事、観光から韓国ドラマやスター情報まで現在の韓国が分かる日本語サイト。

韓国を知る

分類記号です。本の内容にもとづいた記号で、本の背のラベルの数字です。本のある棚の位置も示しています。

韓国全体を知るには、こんな本があります。

・『体験取材!世界の国ぐに 12:韓国』(ポプラ社)2007 児童 29

・『きみにもできる国際交流2:韓国』(偕成社)1999 児童 30

・『国際理解に役立つ韓国まるごと大百科 1~5』(ポプラ社)2003 児童 292

-以上は学習の教材として使える韓国の入門書です。

・『朝鮮を知る事典 新訂増補』(平凡社)2000 3022

-韓国・朝鮮半島に関する網羅的な事典。

・『韓国(読んで旅する世界の歴史と文化)』(新潮社)1993 292

-出版年が少し古いですが、韓国の主要都市・歴史・文学・芸芸・音楽などを把握できる便利な1冊。

・『韓国と出会う本:暮らし、社会、歴史を知るブックガイド』(岩波ブックレット)2003 3022

-韓国を理解するのに役立つ本をテーマごとに紹介しています。

・『大好きな韓国』 四方田犬彦/著 (ポプラ社) 3022

・『心で知る、韓国』 小倉紀蔵/著 (岩波書店)2005 3022

・『オンドル夜話』 尹学準/著 (中公新書)1983 316

-韓国社会に生き残る両班(ヤンバン)階級のエトスを解説。

・『Koreana(コリアーナ)』(韓国国際交流財団) 雑誌

-韓国の芸術・文化をテーマにした雑誌です。



韓国の歴史

- ・『日本とのつながりで見るとアジア1：東アジア1』（岩崎書店）2003 〔児童 292〕
- ・『中・高校生のための朝鮮・韓国の歴史』 岡百合子/著（平凡社ライブラリー）2002 〔221〕
-朝鮮・韓国史の概要がわかる物語です。
- ・『歴史の交差点にて：日本・中国・朝鮮』 司馬遼太郎ほか/著（講談社文庫）〔221〕
- ・『韓国の歴史を知るための66章』 金両基/著（明石書店）2007 〔221〕
- ・『図説韓国の歴史』 金両基/監修（河出書房新社）2002 〔221〕
- ・『日韓交流の歴史：日韓歴史共通教材』（明石書店）2007 〔2101〕
-日韓の教育界が共同編集した歴史教材。
- ・『日本と朝鮮半島2000年 上』（NHK出版）2010 〔2101〕
-古代の日朝交流史について新しい視点を交えて解説しています。
- ・『ワイド版 街道をゆく2：韓のくに紀行』 司馬遼太郎/著（朝日新聞社）2005 〔9156〕
- ・『両班（ヤンバン）：李朝社会の特権階層』 宮嶋博史/著（中公新書）1995 〔221〕
- ・『錦絵の中の朝鮮と中国 カラー版』 姜徳相/著（岩波書店）2007 〔2101〕
-明治時代の日本人が当時どのように朝鮮半島を見ていたのかを考えます。
- ・『閔妃（ミンビ）暗殺』 角田房子/著（新潮文庫）1993 〔221〕
-1895年日本公使らによって引き起こされた王妃殺害事件に至る経過を描きます。
- ・『韓国併合』 海野福寿/著（岩波新書）1995 〔2106〕
-朝鮮半島植民地化の過程をまとめた通史。
- ・『歲月よ王朝よ：最後の朝鮮王妃自伝』 李方子/著 三省堂 1987 〔2884〕
-皇族梨本宮方子は朝鮮王朝最後の皇太子と結婚しました。波乱に富む自伝です。

ソウルを知る

ソウルは、1392年成立の朝鮮王朝が建設した都・漢陽に起源を持ちます。

- ・『図説ソウル：モダン都市の150年』 砂本文彦/著（河出書房新社）2009 〔221〕
- ・『ソウル（世界の都市の物語）』 姜在彦/著（文春文庫）1998 〔221〕
- ・『ソウル都市物語：歴史・文学・風景』 川村湊/著（平凡社新書）2000 〔221〕
- ・『ソウルの風景：記憶と風貌』 四方田犬彦/著（岩波新書）2001 〔3022〕
- ・『2002年ソウルスタイル』 朝倉敏夫/編（千里文化財団）2002 〔3822〕
-国立民俗学博物館で行われた展示記録。ソウルの一家族の生活がありのままに公開されています。

韓国の食生活を知る

- ・『韓国のごはん（絵本世界の食事3）』（農山漁村文化協会）2007 **児童38**
-イラストで楽しく韓国の食事を学べます。
- ・『世界の市場 アジア編2：韓国』（アリス館）2007 **児童67**
-たくさんの食べ物が売られている市場、スーパー、コンビニの様子がわかります。
- ・『世界の食文化1：韓国』 朝倉敏夫/著（農山漁村文化協会）2005 **3838**
-韓国の食の歴史、特徴、現在の食生活について紹介しています。
- ・『韓国の食』 黄慧性、石毛直道/著（平凡社）1988 **3838**
-日本の文化人類学者が、朝鮮の宮廷料理から郷土料理にまで通じる食の第一人者の話を聞きます。
- ・『韓国食めぐり』 新見寿美江/編・著（JTBキャンブックス）2002 **3838**
- ・『韓国を食べる』 黒田勝弘/著（文春文庫）2005 **3838**
-長年韓国取材した記者による食から見る韓国社会論。
- ・『焼肉は好きですか？』 鄭大声/著（新潮選書）2001 **3838**
-日本で一般化した焼肉料理をはじめ韓国料理の文化背景を解説している本。
- ・『韓国オモ二の食卓』 崔智恩/著（PARCO）2001 **596**
-日本でもなじみのあるナムル、チヂミを含む韓国家庭料理のレシピ集。
- ・『家庭でもできる「宮廷女官チャングムの誓い」韓国宮廷料理 1』（竹書房）2005 **596**
-ドラマ「チャングムの誓い」に登場する料理を家庭で再現できます。



韓国の文化を知る

- ・『韓流ハンドブック』 小倉紀蔵/編 新書館 2007 **3022**
-韓流ブームの背景や現代韓国文化を解説。俳優紹介も。
- ・『ポジャギ：韓国の包む文化』 中島恵/著（白水社）2009 **3859**
-日本の風呂敷に似たポジャギは美しい色彩を持つ韓国の伝統手芸品です。
- ・『ポジャギ：韓国のパッチワーク』 金賢姫/著（文化出版局）1999 **5949**
- ・『彩るポジャギ：暮らしを染める韓国の布』 崔良淑/著（主婦と生活社）2003 **5949**
-ポジャギの作り方がわかる2冊です。
- ・『李朝を楽しむ』 太陽編集部/編（平凡社コロナブックス）1998 **756**
- ・『韓国陶磁器めぐり』 新見寿美江/編（JTBキャンブックス）2001 **7512**

韓国の言葉を知る

言葉を知れば韓国がずっと身近になるはずです。

- ・『世界の文字と言葉入門3：朝鮮半島の文字「ハングル」と言葉』（小峰書店）2004 **児童80**
- ・『ハングルを読もう』 井藤伸比古/著（仮説社）2005 **児童82**

- ・『言葉が通じてこそ、友だちになれる：韓国語を学んで』 茨木のり子/著（筑摩書房）8291
- ・『ためぐち韓国語』 四方田犬彦/著（平凡社新書）8291

韓国の文学

- ・『マイルスウィートソウル』 チョン・イヒョン/著（講談社）2007 929
-著者は1972年生まれ。ソウルで暮らす30代独身女性の生活を描きます。
- ・『笑いの三千里：朝鮮ユーモア文学傑作選』 金学烈/編（白水Uブックス）1992 929
- ・『現代韓国短編選 上・下』（岩波書店）2002 929
- ・『友へ：チング』 郭暲澤/著（文春文庫）2002 929
-プサンを舞台にした4人の少年の友情と別離の物語。

韓国の絵本とむかし話

- ・『ブックエンド 第3号』（絵本学会）2005 0195
-特集「韓国絵本が熱い！」 作家紹介や日本語で読める韓国絵本の一覧があります。
- ・『韓国・朝鮮半島を描いた絵本』（ぷらたなす第58号）
東京都立多摩図書館が作成した韓国文化を味わえる絵本のリスト。下記ウェブサイトで公開。
⇒www.library.metro.tokyo.jp/14/p058-0.html
- ・『ネギをうえた人：朝鮮民話選』 金素雲/編（岩波少年文庫）2001 児童92
- ・『李錦玉・朝鮮のむかし話 1～3』 李錦玉/文（少年写真新聞社）2009 児童92
- ・『あずきがゆばあさんとトラ』 ユン・ミスク/絵（アートン）2004 Ⅰ
- ・『さんねん峠』 朴民宜/絵（岩崎書店）1981 Ⅰ
-さんねん峠はここでころぶと三年しか生きられない峠。ころんでしまったおじいさんは？
- ・『トケビにかったバウイ』 吳炳学/絵（福音館書店）1974 Ⅰ
-村の少年バウイは怪物トケビと勝負することになります。
- ・『わたしの社稷洞（サジクドン）』 ハン・ソンオク/絵（アートン）2004 Ⅰ
-再開発で失われたソウル都心の町並みと生活を描いています。
- ・『ソリちゃんのチュソク』 イ・オクベ/作（セーラー出版）2000 Ⅰ
-チュソクは旧暦8月15日に行われる先祖を弔う行事。都市に住む女の子が田舎の祖母を訪ねます。
- ・『きょうはソンミのうちでキムチをつけるひ！』 パン・ジョンファ/絵（セーラー出版）2005 Ⅰ
- ・『ソルビム：お正月の晴れ着』 ペ・ヒョンジュ/作（セーラー出版）2007 Ⅰ
-お正月に初めて着る晴れ着、ソルビム。色彩豊かな絵本。『ソルビム2』は男の子編です。
- ・『蚊とうし』 イ・オクベ/作（アートン）2004 Ⅰ
-うしをばかにして血を思い切り吸っていた蚊の運命は？

この配布物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。